

実績を客観的に確認できる資料の例

(1) 学業及び特別活動等に関する実績

- 総合的な学習の時間：活動記録や調査メモ、計画表など
- 部活動、クラブ活動：実績資料を添付できない場合は、高等学校長が作成する調査書の記入内容を評価
- ボランティア活動：ボランティア参加証明書など
- 生徒会活動：任命証や校内新聞など
- 留学・海外経験等：(志願者の) 採用決定通知など

(2) 課題研究等に関する実績

- 課題研究等に関する実績：発表資料や抄録など
- ※ 志願者の実績が客観的に確認できるもの

実績を客観的に確認できる資料（実績資料）を添付することを原則とします。

(3) 資格・検定等に関する実績

- 資格・検定：合格証書、認定証など

実績を客観的に確認できる資料（実績資料）を添付することを原則とします。

(4) スポーツ、競技歴等に関する実績

- スポーツ、競技歴等：出場申込書、選手登録用紙、主催者発行の競技結果表、賞状、新聞記事、大会要項、その他志願者の実績が客観的に確認できるもの

実績を客観的に確認できる資料（実績資料）を添付することを原則とします。

(大会等名、学校名、志願者本人の氏名・ポジション等以外の情報、また志願者本人以外の個人に関する情報は、必要に応じ黒塗りやマスキングしコピーして構いません)

(5) 文化、芸術、芸能等に関する実績

- 文化、芸術、芸能等：
出場申込書、選手登録用紙、主催者発行の競技結果表、賞状、新聞記事、大会要項、その他志願者の実績が客観的に確認できるもの

実績を客観的に確認できる資料（実績資料）を添付することを原則とします。

(大会等名、学校名、志願者本人の氏名・役割等以外の情報、また志願者本人以外の個人に関する情報は、必要に応じ黒塗りやマスキングしコピーして構いません)